



観光交流大賞に大町市

地域活性化
支援センター
「恋人の聖地」活用で

プロポーズにふさわしい観光スポットを「恋人の聖地」として選定している地域活性化支援センターは20日、聖地を最も地域振興に活用した団体

に長野県大町市を選び、第1回「観光交流大賞」を贈った。表彰式には女優でタレントの菊川怜さんが出席し賞状を手渡した。

「恋人の聖地サテライト」として77カ所選定し、非婚、少子化対策と観光地の活性化に取り組んできた。聖地を生かした取り組みとして観光交流大賞を表彰するのは初めてとなる。

大町市は市内に点在するロマンチックな観光地を結び「北アルプスハイ

表彰式で撮影に応じる左から大町市の西沢課長、菊川さん、選定委員の桂由美さん

同センターでは全国の公共機関が管理、運営する観光スポットを恋人の聖地として132カ所、海外を含む民間施設を

「聖地が全国に広がり、地域活性化につながって

「聖地が全国に広がり、地域活性化につながっていいうれしい」とコメントした。

トロード」と名付け、2013年4月に聖地に選定された。その後13年、14年に6回開いた婚活イベントでは40組のカップルが誕生するなどの成果をあげている。表彰式には同市の西沢美千夫観光課長が出席した。

恋人の聖地選定委員などを務めた菊川さんは